

地域を守る私たちの消防団

～芦屋町消防団と地域が創る、安心の毎日～



みなさんは消防団がどんな活動をしているか知っていますか？

今回の特集では、芦屋町消防団の活動や団員の声を紹介します。

消防団とは

火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、地域生活をする中で得られる知識や経験を生かした消火活動や救助活動を行う組織です。

消防団員と消防署員の違いは？



消防団員は、普段はそれぞれの仕事（サラリーマンや農家、自営業など）に就きながら、火災をはじめとする災害時に現場へ駆けつける、非常勤特別職の公務員です。

一方、消防署員は常勤の地方公務員として、消防本部や消防署に勤務しています。

どういう人が消防団に入団できるの？



18歳以上の健康な人で、芦屋町内に在住・在勤であれば、芦屋町消防団に入団することができます。

【分団の担当区域と団員数】

区分	場所	担当区域	団員数
第1分団	折尾警察署 芦屋交番横	栗屋、大城、浜口町、 緑ヶ丘、高浜町、正門町、 祇園町、船頭町	25人
第2分団	役場横	中ノ浜、幸町、西浜町、 白浜町	22人
第3分団	城山公園下	山鹿地区全域	25人
本部	役場		3人

団員数

各分団の担当区域と

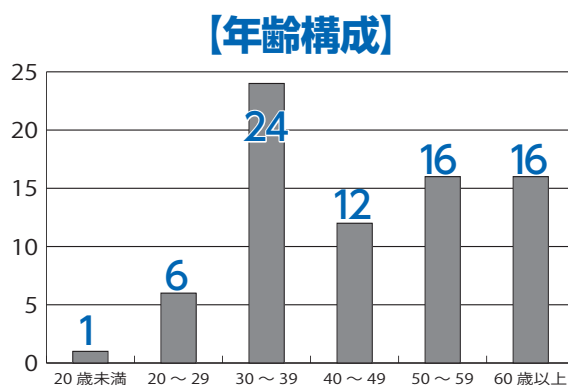
芦屋町消防団は3個分団と本部で構成されています。各分団に担当区域がありますが、火災をはじめとする災害時は担当区域に関わらず、全分団が出動します。



芦屋町消防団

●団員の年齢構成

10月1日現在、芦屋町消防団の団員数は75人です。10代から70代までの幅広い年代の団員が活動しています。



●消防団の待遇

被服の貸与

活動に必要な活動服や革手袋、安全靴などが貸与されます。

報酬

芦屋町消防団は階級によって異なりますが、年間報酬（83800円）が支給されます。また、災害や訓練に出動した場合には出動報酬

（1日あたり最大8000円）と費用弁償が別途支給されます。なお、5年以上勤務された団員には退職報償金も支給されます。

公務災害補償

消防団活動中に負傷した場合などには公務災害補償が受けられます。

●消防団の主な活動

月に2回、消防車両や機械器具の点検、水門操作などの確認を行う定例出動を行っています。



△放水訓練

また、火災現場での活動を想定した放水訓練や風水害に備えた土嚢づくり、春の火災予防週間や年末には、特別警戒として消防車両で町内の巡回を行っています。

有事の際に備え、AEDの使用や応急救護を学ぶ救命講習、火災時の事故や怪我を防ぐための遠賀郡団員教養訓練に参加し、必要な知識の習得を行っています。



△救急救命講習

そのほか、花火大会の警備や、町が行う避難訓練にも出動しています。

【芦屋町消防団の主な年間予定行事】

1月	遠賀郡消防合同出初式
3月	春の火災予防週間に伴う夜間警備
6月	芦屋町大雨洪水避難訓練
7月	あしや花火大会警備 ※3個分団のうち、毎年1個分団が持ちまわりで警備を担います。
9月	遠賀郡消防総合訓練※2年に1回開催されます。
11月	芦屋町地震津波避難訓練
12月	歳末警戒



△遠賀郡消防総合訓練

消防団員 インタビュー

第1分団で活躍する団員に、入団したきっかけや消防団の魅力・やりがいなどをインタビューしました。



第1分団 団員 小手川 孝一さん



● 消防団に入ってきたきっかけは？

第1分団にいた知人から誘われたのがきっかけです。消防団は災害時の出動や訓練などで大変なイメージがありましたが、「活動にやりがいがあり、人とのつながりも増えるよ」と聞き、入団を決めました。

● 訓練の回数は？

月に2回の定例出動では、消防車両や機材器具の点検を行っています。また、実際の火災を想定した訓練や消火栓を使用した放水訓練などを年に2回行っています。ただ、仕事や家庭の都合で参加できない場合は遠慮せず、欠席しています。

● 消防団に入って思い出に残っていることは？

令和6年2月に行われた遠賀郡消防合同訓練で最優秀分団賞を受賞したことです。私も選手として訓練に参加しましたが、遠賀郡4町の消防団の中で、第1分団の訓練内容が一番評価されたこと

はとても嬉しかったですし、日頃の訓練の成果が発揮できたことでとてもやりがいを感じる機会となりました。

この訓練をきっかけに、災害現場でも、冷静に行動することができるよう積極的に訓練に参加して技術と知識を身に付けようと思いました。



● 消防団の魅力は？

さまざまな人とのつながりが増えたことが魅力です。仕事も人生経験も全く異なる人たちの集まりなので、人生の幅が広がりました。また、周りの団員も優しく頼れる人ばかりなので、困ったことや悩みも相談しています。

● 消防団員を募集しています

町を災害から守る消防団は地域社会になくてはならない存在です。

芦屋町では消防団員を募集していますので、興味を持った人は、庶務係まで連絡してください。

※活動内容、処遇など不明な点は気軽に問い合わせてください。

○入団条件

・18歳以上の入

・町内に居住または勤務している人

○問い合わせ

庶務係（☎2223・3572）

町を守る消防団、
かっこよかったっちゃ！
消防団員募集中っちゃ！





必ず、あなたの役に立つ 戸別受信機を設置しましょう★

■ 戸別受信機を設置しましょう

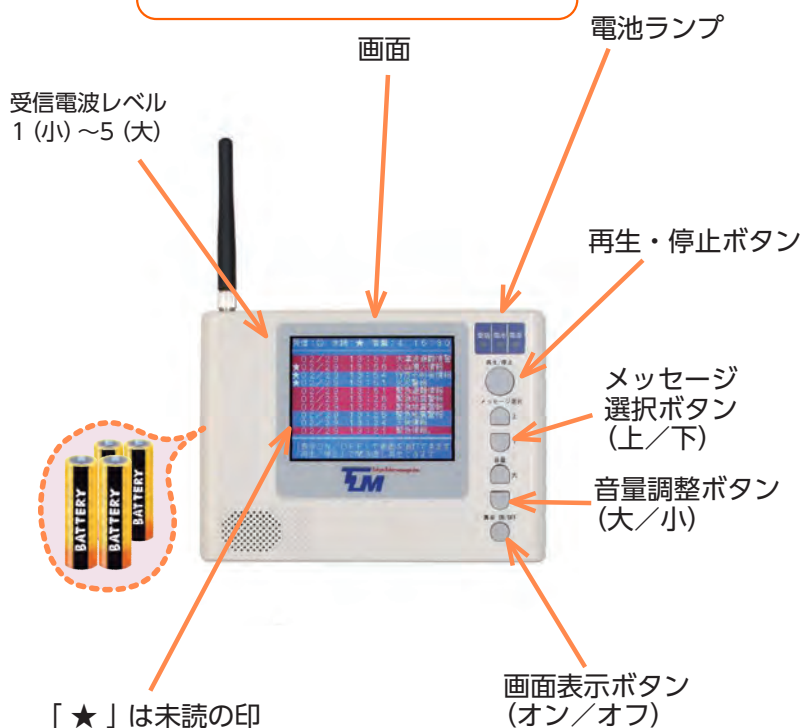
- 戸別受信機は、災害時の避難情報や町からの重要な緊急情報を受信する機器で、町からの情報だけではなく、住んでいる自治区からの情報（区内の行事などのお知らせ）も配信される便利な機器です。まだ、箱から出していない人は、設置をお願いします。

■ 電源（コンセント・電池）の接続

戸別受信機の電源は、普段は AC アダプターを接続し、家庭用コンセント（以下、コンセント）から取ってください。電池は停電時に使用しますので、必ず入れておいてください。

- コンセントに接続していても、電池は自然消耗します。また、コンセントに接続せずに電池だけで使用すると、2、3 日程度で電池がなくなります。
- 電池切れの場合（電池を入れていない場合も）は、受信機右上の「電池」のランプが赤く点灯するので、電池を交換してください。
- 液漏れによる故障などを防ぐためにも、電池は 1 年に 1 回は交換しましょう。
- 電池は、「+」「-」を正しい向きで入れましょう。間違えると液漏れを起こし、故障や出火の原因になってしまいます。

電池を入れた状態で AC アダプターにつなぐと、緑ランプが点灯します（電池切れの場合は、赤ランプが点灯します）。



■ 受信の確認

- 受信し、読んでいない情報には、「★」印が付いています。「再生・停止」ボタンを押して、内容を確認しましょう。
- 音量は、受信機の右側下段の音量調整用の「大」「小」ボタンで調整できます。

■ 戸別受信機は町からの貸与品です

- 戸別受信機は、町からの貸与品です。大切に扱ってください。芦屋町から転出する場合は、必ず総務課に返却してください。また、一人暮らしの人が亡くなった場合も返却が必要です。
- 町内で転居する場合は、転居先の自治区の情報を受信できるよう、設定を変更しますので、総務課に戸別受信機を持ってきてください。

▷ 問い合わせ 戸別受信機に係る全般のこと＝庶務係（☎ 2 2 3 - 3 5 7 2）

戸別受信機の機器や使用方法＝防災ラジオコールセンター（24 時間対応 年中無休）（☎ 〈 0 1 2 0 〉 3 8 8 - 2 8 0）